



## 農林大学の動き(H30年11月)

2018. 12. 6

島根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



### ○平成30年度石東連合子牛共進会に出品(10/27)

各地区より25頭が出品され、優秀賞15頭、優良賞10頭を選出。本校から出品した2頭は5席と9席に入り、1ヶ月間の調教や手入れ等の管理をした成果が現れた。当日は、地元農家から直接手入れの仕方を教わるなど勉強になる1日であった。



### ○平成30年度野菜実践研修閉校式(10/30)

5月8日から10月30日の全16回実施し、閉校式を迎えた。受講生2名が修了証書、1名が参加者証を受け取った。本格的な野菜作りが学べ充実した研修だった。学生との交流も楽しかったと感想を述べられた。



### ○ハウス建設実習を開催(10/31、11/1)

農業科の学生と農業担い手育成研修の研修生がハウス建設と解体の作業を実際に行い、専門家(松江市:三島晴夫氏)の指導によりノウハウを学んだ。



### ○赤名まつりに参加(11/1)

林業科学生(1年生9名・2年生7名)が学生寮のある赤名地域の祭りに参加し、祭りを盛り上げた。赤名まつりへの参加は、学生達の住む地域との交流を促進するため、平成28年度から参加し、今年で3回目の参加となった。地域の皆さんには16名の若者の参加をととても喜んでいただいた。



### ○「地域探検隊」(朝波小学校2年生)が来校(11/2)

朝波小学校と本校とは、食育・花育活動で交流を図っている。この日は、地域内の施設を見て歩く「地域探検隊」(2年生:12名)が本校肉用牛専攻と花き専攻を訪れた。児童の熱心な質問に、本校学生が苦勞しながら分かりやすく答えていた。



### ○2年生が先進農林業者等体験学習の校内報告会で発表(11/5)

8~9月に1ヶ月間行った体験学習について、実体験を通して得た知識や技術の習得、感じたことなどを発表した。この体験の実習先に雇用就農、雇用就業が決定した学生は過半を占め、進路決定の大きな柱となっている。

### ○JALしまね石見銀山青年連盟との交流事業始まる(11/8)

農青連からの提案で、本校学生との交流事業を開始。1回目は「ポン菓子機の使い方」を農青連メンバーから習った。3班に分かれ、JA農青連のメンバーから準備の仕方や操作方法の説明を受けた後、順番に学生が操作。何回か操作するうちに学生自ら操作できるようになった。また、女子学生を中心に「糖蜜作り」や「かき混ぜ方」を習い、白米20kg、玄米2kgをポン菓子にした。11/10のJAふれあい祭りでは、学生の有志が農青連のブースでポン菓子製造・販売を手伝った。

## 11月号(その2)



### ○林業科の1年生(9名)が「石見地域の林業」を見学(11/8、9)

木材生産が活発で、大型木材利用施設のある石見地域の事業体を見学。県内で素材生産量 No.1 の素材生産業者やスギの製材量 No.1 の製材所、合板工場やバイオマス発電所などを見学し、現場の雰囲気や木材利用の状況などの理解を深めた。

### ○春からの「シクラメン講義」が終了(11/14)

春から続けてきた平田園芸場の勝部寿真氏による「シクラメン講義」が最終回を迎えた。最終回は、農林大のハウスで、出荷直前のシクラメンを見ながら管理のポイントや品種などについて学んだ。



### ○「農林大市場」を開催(11/22)

農林大の秋のイベントとして地域の方々に定着してきた「農林大市場」は、悪天候にもかかわらず約 300 名の来場者があつた。学生が栽培したシクラメンや和牛肉、花苗の他、トマト、葉物、さつまいも、ポン菓子、すももジャム、乾燥しいたけなどの即売も好評で、1 時間足らずで終了した。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。